

製品名: CHP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08778**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	CHP1 CHP1; CHP; Calcineurin B homologous protein 1; Calcineurin B-like protein; Calcium-binding protein CHP; Calcium-binding protein p22; EF-hand calcium-binding domain-containing protein p22
別名	
遺伝子 ID	11261.0
SwissProt ID	Q99653
免疫原	ヒト CHP の内部領域から得られた合成ペプチド。

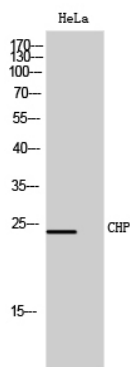
背景

この遺伝子は、Na⁺/H⁺交換輸送体 NHE1 に結合するリン酸化タンパク質をコードしています。このタンパク質は、NHEファミリーメンバーの生理活性をサポートする必須の補因子として機能し、NHE1 の細胞分裂制御に役割を果たしている可能性があります。このタンパク質は、カルシニューリン B およびカルモジュリンと類似性があり、カルシニューリン活性の内因性阻害剤としても知られています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:恒常的な膜輸送に必要。GTPase 刺激による Na(+)/H(+)交換を阻害します。また、カルシニューリンホスファターゼ活性も阻害します。SLC9A1/NHE1 の活性に必要です。、PTM:N-ミリスチル化とカルシウムを介した構造変化の両方が、細胞外輸送における機能に不可欠です。、PTM:リン酸化されており、リン酸化の減少は交換活性の増加と関連しています。リン酸化状態は NHE1 への結合を制御する可能性がある。、類似性: 4つの EF ハンドドメインを含む。、サブユニット: モノマー (類似性による)。SLC9A1/NHE1 の、成長因子による交換活性の刺激に重要なドメインに特異的に結合する。、組織特異性: 普遍的に発現する。胎児の眼、肺、肝臓、筋肉、心臓、腎臓、胸腺、脾臓に認められる。、

研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;カルシウム;卵母細胞減数分裂;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;WNT;WNT-T 細胞軸索ガイダンス;VEGF;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害;T 細胞受容体;B 細胞抗原;長期増強;アルツハイマー病;筋萎縮性側索硬化症 (ALS);

画像データ



CHP ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析